

## 住宅の気密性能試験結果(1)

依頼者	会社名又は氏名	華地橋 株式会社	電話	0743-32-8715
	住所	滋賀県近江八幡市出町162-2		

### 測定対象建物の概要

建物の名称		様邸 新築工事	
所在地		滋賀県大津市本置田	
竣工年月日		2016/11	
構造及び工法		在来木造工法	
建物の規模	地階床面積	- $m^2$	
	1階床面積	62.1 $m^2$	
	2階床面積	62.79 $m^2$	
	3階床面積	- $m^2$	
	延べ床面積	114.89 $m^2$ (A)	
開口部の仕様		窓	単層(引き違い・外開き・内開き)
		玄関戸	外開き戸
主な部位の気密層の仕様			
建物概要図		別紙第1付図面の通り	
漏気量を測定した位置		別付平面図に示す	

### 測定時の建物条件

No.	部位	方法	確認	特記事項(左欄以外の処理)
1	建物外壁にあるドア・窓	ロック(施錠)だけ	○	
2	天井・床下改め口	普通に閉めた状態	○	
3	郵便受け	普通に閉めた状態	○	
4	床下に通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
5	基礎と床の両方を断熱している地下へ通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
6	換気レジスター	シャッター閉または目張り	なし	
7	台所レンジファン	シャッター閉または目張り	なし	
8	換気扇・天井扇	シャッター閉または目張り	なし	
9	FF式以外の暖房の穴	ダンパー閉または目張り	なし	
10	屋外に通じる排水管	封水または管口を封鎖	○	
11	集中換気システムの給排気ダクトの屋外側出入口	テープ処理または目張り	○	
12	建物外壁の外側に開口部	普通に開けた状態	○	
測定対象外にした部分(空間)の名称				
同上で延べ床面積(A)に含まれる床面積		- $m^2$ (B)		
床抜け・床下・小屋根などの測定対象の相当床面積		11.35 $m^2$ (C)		
測定対象とした建物の実質延べ床面積(S)		S = 114.89 $m^2$ S = (A) - (B) + (C)		
測定対象とした建物の内皮内容積		V <sub>i</sub> = $m^3$ (漏気回数を求めるときに記入すること)		

(注) 確認欄には、各状態を確認後、○印を付けること

## 住宅の気密性能試験結果(2)

住居 新築工事

測定者・測定方法・測定装置							
事業所	株式会社 コーナーボックス	事業所登録番号	1590	測定者	高橋 宏	登録番号	07093-18
所在地	大阪府東大阪市吉田本町2-3-30				電話番号	072-962-2787	
測定方法	JIS A 2291 (この規格による住宅等の気密性能試験方法)による (漏れ法) 漏量および圧力差の測定は、3か点の設置した測定装置を併用して行った						
測定装置	コーナー札幌株式会社 KNS-2500C型						

試験日時	2017年1月11日 10時00分						
測定時の環境	天候	曇り	風速				m/s (参考)
	室内温度	9.2 ℃	風向				(参考)
	外気温度	5.8 ℃	風速測定位置				(参考)
			気圧				hPa (参考)

測定点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
圧力差: $\Delta P$ (Pa)	19.7	31.4	40.1	47.5	58.7					
通気量: Q(m <sup>3</sup> /h)	42	75	72	88	109					

隙間特性値: $n$ ( $1 < n < 2$ )	1.15
透気率( $\Delta P=1Pa$ 時の通気量): $a$	3.8 $cf/h \cdot Pa^{-1/2}$
$\Delta P=0.8Pa$ における通気量: $Q_{0.8}$	23.1 $cf/h$
係数: $b$	0.706
総相当隙間面積: $a$ A(cm <sup>2</sup> )	16 $cm^2$
相当隙間面積: $C$ (cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> )	0.1 $cm^2/m^2$

